

事務事業評価シート

事務事業コード	028500	重点施策	まちづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取空港の利用を促進する懇話会事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%		
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	運営方法	その他
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取空港の利用を促進する懇話会負担金			予算事業コード	01-02-01-07-04-04

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取空港の利用促進
意図 (どのような状態 にするために)	東京便の5便化維持、運賃低廉化、国際チャーター便の就航等。
手段 (どうするのか)	県内の自治体、商工団体、観光団体で組織する「鳥取空港の利用を促進する懇話会」が中心となり、便数の維持・拡大に向けた利用促進策や、国際定期路線の就航に向けた事業を推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 鳥取 - 東京便の利用促進事業の展開 有償搭乗者数36万人を目標値に設定。	平成29年度 鳥取 - 東京便の利用促進事業の展開 有償搭乗者数37万人を目標値に設定。	平成30年度 鳥取 - 東京便の利用促進事業の展開 有償搭乗者数38万人を目標値に設定。	令和元年度 鳥取 - 東京便の利用促進事業の展開 有償搭乗者数39万人を目標値に設定。	令和2年度 鳥取 - 東京便の利用促進事業の展開 有償搭乗者数40万人を目標値に設定。	
	年度別実績	利用促進事業 ・既存航空路線の増便、5便安定化、新規航空路線の開設への取組 ・鳥取空港の国際化への取組 ・関係機関への要望、働き掛け 鳥取 - 東京便の有償搭乗者数35.4万人	利用促進事業 ・既存航空路線の増便、5便安定化、新規航空路線の開設への取組 ・鳥取空港の国際化への取組 ・関係機関への要望、働き掛け 鳥取 - 東京便の有償搭乗者数36.8万人	利用促進事業 ・既存航空路線の増便、5便安定化、新規航空路線の開設への取組 ・鳥取空港の国際化への取組 ・関係機関への要望、働き掛け 鳥取 - 東京便の有償搭乗者数38.6万人	利用促進事業 ・既存航空路線の増便、5便安定化、新規航空路線の開設への取組 ・鳥取空港の国際化への取組 ・関係機関への要望、働き掛け 鳥取 - 東京便の有償搭乗者数39.6万人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	12,817	12,819	12,738	12,647	0	
	直接経費 A	11,012	11,355	11,289	11,209	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	333	0	0	0	0
一般財源	10,679	11,355	11,289	11,209	0		
人件費 B	1,805	1,464	1,449	1,438	0		
職員数の内訳	正規職員	0.25	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	[KPI]年間有償搭乗者数	単位	万人	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			実績		36	37	38	40	40			
	(指標の説明) 基準値は平成22年度から平成24年度の平均有償搭乗者数											
	2	鳥取空港国際チャーター便数	単位	便	目標	10	10	10	10	10		
			実績		8	46	34	37	0			
	(指標の説明) 鳥取空港を利用した国際チャーター便数											
3	鳥取東京便数	単位	便	目標	5	5	5	5	5			
		実績		5	5	5	5	0				
(指標の説明) 東京 - 鳥取便の数												

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P173(都007)</p> <p>【事業の概要】 鳥取県、鳥取市をはじめとした鳥取県東・中部並びに兵庫県北部の各自治体、経済団体等で「鳥取空港の利用を促進する懇話会」を設立し、鳥取空港の利用促進活動を展開している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 既存航空路線の増便、5便安定化、新規航空路線の開設への取組 2. 鳥取空港の国際化への取組 3. これらに係る関係機関への要望、働き掛け <p>【事業の成果】 負担金額及び鳥取-東京便利用者数</p> <table border="1"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>11,355千円</td> <td>388,423人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>11,289千円</td> <td>408,732人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>11,209千円</td> <td>388,696人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取-東京便の5便化定着に向け、さらなる利用促進に取り組む必要がある。</p>	平成29年度	11,355千円	388,423人	平成30年度	11,289千円	408,732人	令和元年度	11,209千円	388,696人
平成29年度	11,355千円	388,423人								
平成30年度	11,289千円	408,732人								
令和元年度	11,209千円	388,696人								

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	[KPI]年間有償搭乗者数	98%	99%	102%	92%	
	2	鳥取空港国際チャーター便数	80%	460%	340%	370%	
	3	鳥取東京便数	100%	100%	100%	100%	

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画とおり事業を完了することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	鳥取・東京便は片道1万円を切る早期割引運賃や冬季閑散期を対象とし首都圏発の旅行商品の販売促進などを行った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>羽田発着枠政策コンテストによる東京便5便化の期間が令和5年3月25日までとなっており、5便化継続に向けて、さらなる利用促進を図っていくための対策を強化・推進していく必要がある。また、国際便の就航を目指し、県等の関係機関と連携した取り組みが重要となっている。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	028600	重点施策	まちづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	地方バス路線維持対策補助事業		所属名	都市整備部 交通政策課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	補助金交付
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地方バス路線維持対策補助金		予算事業コード	01-02-01-09-06-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	高齢者や学生を中心とした、車を運転されない市民等。
意図 (どのような状態にするために)	自動車の普及や少子高齢化の進行等の影響により、バス路線の減便・廃止が続く中、利用者本位の利便性の高い路線バスを維持する。
手段 (どうするのか)	バス事業者へ補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		バス事業者への補助金交付	バス事業者への補助金交付	バス事業者への補助金交付	バス事業者への補助金交付	バス事業者への補助金交付	
年度別計画							
年度別実績							
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	212,010	209,730	226,748	262,507	0	
	直接経費 A	210,566	207,900	225,299	261,069	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	38,007	33,688	33,985	33,979	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	1	0
	一般財源	172,559	174,212	191,314	227,089	0	
人件費 B	1,444	1,830	1,449	1,438	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.25	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	[KPI] 路線バス利用者数の減少率	%	目標	95	95	95	95	95
				実績	98.5	99.2	98.7	98.4
(指標の説明) 利用者の減少抑制を目指す。(対前年比95%以内)								
2	路線バス利用者数	人	目標	2680839	2546797	2419457	2298485	2183561
				実績	2780149	2756953	2721028	2678437
(指標の説明) 鳥取県東部の路線バス利用者数。								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P175(都008)</p> <p>【事業の概要】 路線バスは、もっとも身近で、地域住民、特に高齢者や学生などの交通弱者にとっては欠くことのできない交通機関である。しかし、少子化や自家用車の普及などにより、バス利用者は年々減少しており、多くの路線が赤字運行になっている。このため、国・県・市がバス事業者に対し補助金を交付してバス路線の維持に努めている。</p> <p>【事業の成果】 バス事業者へ補助金を交付することで、中山間地域をはじめとする鳥取市内の生活交通を維持している。</p> <p style="text-align: center;">補助金額及び路線バス利用者数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>207,900千円</td> <td>276万人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>225,299千円</td> <td>272万人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>261,069千円</td> <td>268万人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 生活交通を確保するため、さらなる路線バスの利用促進に努めるとともに、代替交通手段の導入を含めた効率的かつ効果的な移動手段について検討・導入しながら、引き続き事業を実施する。 その他財源の諸収入は、補助金返還金。</p>	平成29年度	207,900千円	276万人	平成30年度	225,299千円	272万人	令和元年度	261,069千円	268万人
	平成29年度	207,900千円	276万人							
平成30年度	225,299千円	272万人								
令和元年度	261,069千円	268万人								

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI] 路線バス利用者数の減少率	104%	104%	104%	104%	
	2	路線バス利用者数	104%	108%	112%	117%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	中山間地域をはじめとする鳥取市内の生活交通を国、県、市が補助金を交付することで維持できている。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	路線バス利用者は昨年より減少しているも、目標を上回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>赤字の拡大や運転手不足を理由にバス路線の縮小・廃止が続く中、市民の移動手段を確保するため本事業を継続するとともに、より効率的かつ効果的な生活交通を確保していく必要がある。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	028700	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	バス代替タクシー運賃補助事業		所属名	都市整備部 交通政策課		

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	補助金交付
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	バス代替タクシー運賃補助金		予算事業コード	01-02-01-09-07-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	高齢者や学生を中心とした、車を運転されない市民等。
意図 (どのような状態 にするために)	バス事業者による採算性の低い路線の見直しが進められる中で、公共交通空白地域や公共交通を補完する地域の生活交通を確保する。
手段 (どうするのか)	路線バスの代替として、乗合タクシーを運行させ、運行経費と運賃収入との差額をタクシー事業者に補助金として交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 乗合タクシー運行事 業者への支援	平成29年度 乗合タクシー運行事 業者への支援	平成30年度 乗合タクシー運行事 業者への支援	令和元年度 乗合タクシー運行事 業者への支援	令和2年度 乗合タクシー運行事 業者への支援	
	年度別実績	平成28年度 新たに1路線運行開始 計7路線で運行中					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	29,328	26,191	27,086	24,825	0	
	直接経費 A	28,245	25,093	26,000	23,746	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	2,824	3,928	4,376	0
		地方債	3,700	2,400	2,800	2,600	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	24,545	19,869	19,272	16,770	0	
人件費 B	1,083	1,098	1,086	1,079	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.15	0.15	0.15	0.15	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		バス代替タクシー利用者数	人	目標	30000	30000	30000	21000	21000
		(指標の説明) バス代替タクシー年間利用者数	実績	32724	32601	31575	21761	0	
	2		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							
	3		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326 【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P175(都010)</p> <p>【事業の概要】 バス路線の再編・減便・廃止等に伴う代替手段として運行されている乗合タクシーの運行経費の一部を支援する。 平成13年10月～ 洞谷地区(予約) 平成20年10月～ 国府地域(予約) 平成22年1月～ 米里地域、気高・青谷地域(予約) 平成24年10月～ 南部地域6路線(定時・予約) 平成28年4月～ 南東部地域(定時・予約) 令和元年3月 南部地域一部廃止 令和2年3月 気高・青谷地域廃止</p> <p>【事業の成果】 路線バスの代替交通手段として、タクシーを既存の路線バスの各停留所を經由して運行させることにより、地域住民の生活交通を確保している。 補助金及び利用者数 平成29年度 25,093千円 32,601人 平成30年度 26,000千円 31,575人 令和元年度 18,388千円 21,761人</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業は、バス路線の縮小や廃止が続く中、生活交通を確保する事業である。地域の実情に応じた生活交通を確保するため、今後も継続して事業を実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	バス代替タクシー利用者数	109%	109%	105%	104%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおり事業を完了することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	乗合タクシーの運行を維持することで、目標を達成することができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>バス路線が再編・廃止・減便された地域において、市民の生活交通を確保する重要な事業であり、継続実施する必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	028800	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	市町村有償運送事業		所属名	都市整備部 交通政策課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	外部委託
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	市町村有償運送事業費		予算事業コード	01-02-01-09-07-17	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	公共交通空白地、交通不便地域の高齢者や学生を中心とした、車を運転されない市民等。
意図 (どのような状態 にするために)	公共交通空白地、交通不便地域において利用者本位の利便性の高い公共交通を確保する。
手段 (どうするのか)	市町村有償運送を導入する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別計画	生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・綿見バス(青谷町綿見・引地地区)	生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・綿見バス(青谷町綿見・引地地区)	生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・綿見バス(青谷町綿見・引地地区)	生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・綿見バス(青谷町綿見・引地地区) ・南部支線バス(河原町・用瀬町・佐治町)	生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・綿見バス(青谷町綿見・引地地区) ・南部支線バス(河原町・用瀬町・佐治町)	
年度別実績	市有償運送バス運行 ・気高循環バス 運行回数 5,365回 利用者数 19,059人 ・綿見バス 運行回数 925回 利用人数 3,117人	市有償運送バス運行 ・気高循環バス 運行回数 5,390回 利用者数 19,857人 ・綿見バス 運行回数 808回 利用人数 3,124人	市有償運送バス運行 ・気高循環バス 運行回数 5,368回 利用者数 18,188人 ・綿見バス 運行回数 736回 利用人数 2,294人	・気高循環バス 運行回数 5,368回 利用者数 15,936人 ・綿見バス 運行回数 788回 利用人数 1,876人 ・南部支線バス 運行回数 4,313回 利用人数 6,980人			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	20,388	20,097	24,228	44,753	0	
	直接経費 A	19,666	19,731	23,504	44,034	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	3,167	4,786	5,525	0
		地方債	2,100	1,200	3,500	6,300	0
		その他	3,412	3,336	3,110	3,666	0
一般財源	14,154	12,028	12,108	28,543	0		
人件費 B	722	366	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.05	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	気高循環バス利用者数	人	目標	19059	19059	19059	19059	19059
				実績	19059	19857	18188	15936
(指標の説明) 平成28年度実績値								
2	綿見バス利用者数	人	目標	3117	3117	3117	3117	3117
				実績	3117	3124	2294	1876
(指標の説明) 平成28年度実績値								
3	南部支線バス	人	目標	0	0	0	6000	6000
				実績	0	0	0	6980
(指標の説明) 平成30年度実績より算出								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P175(都012)</p> <p>【事業の概要】 路線バスや乗合タクシーが縮小、廃止となった地域において市有償バスを運行する。現在、気高町・鹿野町に「気高循環バス」を、青谷町に「絹見バス」を、河原町・用瀬町・佐治町に「南部支線バス」を運行し、各地域の生活交通を確保している。 気高循環バス 運行系統 4系統 平日 22便/日 絹見バス 運行系統 1系統 平日 10便/日 南部支線バス 運行系統 5系統 平日 20便/日(土日祝7便/日) 運休日 土日祝日及び12月29日から1月3日 運賃 中学生以上200円、小学生・障がい者等100円、幼児無料</p>																			
	<p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 25%;">気高循環バス</th> <th style="width: 25%;">絹見バス</th> <th style="width: 20%;">南部支線バス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>平成29年度</td> <td>19,857人</td> <td>3,124人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> <td>18,188人</td> <td>2,294人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和元年度</td> <td>15,936人</td> <td>1,876人</td> <td>6,980人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 気高循環バス、絹見バス及び南部支線バスは地域住民にとって重要な生活交通であるため、今後も利便性の向上等を図りながら継続して事業を実施する。</p> <p>その他財源の使用料は、気高循環バス・絹見バス・南部支線バス使用料。</p>			気高循環バス	絹見バス	南部支線バス	利用者数	平成29年度	19,857人	3,124人			平成30年度	18,188人	2,294人			令和元年度	15,936人	1,876人
		気高循環バス	絹見バス	南部支線バス																
利用者数	平成29年度	19,857人	3,124人																	
	平成30年度	18,188人	2,294人																	
	令和元年度	15,936人	1,876人	6,980人																

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	気高循環バス利用者数	100%	104%	95%	84%	
	2	絹見バス利用者数	100%	100%	74%	60%	
	3	南部支線バス				116%	

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおり事業を完了することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	通学利用者が減少したため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>高齢化の進展等により公共交通のニーズが高まってきていることから、各地域の実態を踏まえながら利便性の向上を図っていく必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	028900	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	公共交通空白地有償運送支援事業		所属名	都市整備部 交通政策課	

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	補助金交付
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	公共交通空白地有償運送支援事業費		予算事業コード	01-02-01-09-07-18	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	公共交通空白地、交通不便地域の高齢者や学生を中心とした、車を運転されない市民等。
意図 (どのような状態にするために)	バス事業者による採算性の低い路線の見直しが進められる中で、公共交通空白地域や交通不便地域において利用者本位の利便性の高い地域交通を確保する。
手段 (どうするのか)	鳥取市社会福祉協議会などが運行主体となる公共交通空白地有償運送に対して運行費支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別計画	公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	
年度別実績	公共交通空白地有償運送事業者へ補助金を交付 交付実績 2件 ・福部循環バス ・ふるさとバス 交付額 3,302千円	公共交通空白地有償運送事業者へ補助金を交付 交付実績 2件 ・福部循環バス ・ふるさとバス 交付額 9,963千円 福部循環バスの購入費補助含む。	公共交通空白地有償運送事業者へ補助金を交付 交付実績 2件 ・福部循環バス ・ふるさとバス 交付額 3,149千円 福部循環バスの購入費補助含む	公共交通空白地有償運送事業者へ補助金を交付 交付実績 1件 ・福部循環バス 交付額 2,789千円			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,024	10,329	3,511	2,933	0	
	直接経費 A	3,302	9,963	3,149	2,789	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,650	2,612	1,574	1,394	0
		地方債	0	5,300	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,652	2,051	1,575	1,395	0		
人件費 B	722	366	362	144	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.05	0.05	0.02	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	過疎地有償運送事業者数	件	目標	2
			実績	2	2	2	3	0
	(指標の説明) 鳥取市内の公共交通空白地有償運送事業者数(地域主体型生活交通確保支援事業との合算)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P175(都013)</p> <p>【事業の概要】 公共交通空白地域の生活交通を確保するため、鳥取市社会福祉協議会が実施する「公共交通空白地有償運送」を支援する。</p> <p>【事業の成果】 補助金額及び利用者数 福部循環バス 運行事業者：鳥取市社会福祉協議会 平成29年度 9,479千円 9,470人 平成30年度 2,715千円 10,551人 令和元年度 2,789千円 10,326人</p> <p>【今後の課題・方向性】 高齢化による運転手不足が課題となっており、支援の拡充を図りながら継続して事業を実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	過疎地有償運送事業者数	100%	100%	100%	150%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおり事業を完了することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	市民主体による生活交通を維持することができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>公共交通空白地域の生活交通を確保するため、運行主体に必要な支援を行いながら事業継続を図る必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	028901	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	公共交通空白地有償運送支援事業(地域主体型生活交通確保支援事業)		所属名	都市整備部 交通政策課		

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	直営
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域主体型生活交通確保支援事業費			予算事業コード	01-02-01-09-07-21

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	公共交通空白地、交通不便地域の高齢者や学生を中心とした、車を運転されない市民等。
意図 (どのような状態にするために)	バス事業者による採算性の低い路線の見直しが進められる中で、公共交通空白地域や交通不便地域において利用者本位の利便性の高い地域交通を確保する。
手段 (どうするのか)	NPO法人などが運行主体となる公共交通空白地有償運送に対して運行費支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
内容	年度別計画				公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	
	年度別実績				公共交通空白地有償運送事業者へ補助金を交付 交付実績 2件 ・ふるさとバス ・大和ふれあいバス 交付額 5,731千円 大和ふれあいタクシーの車両購入費含む		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	5,947	0	
	直接経費 A	0	0	0	5,731	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	1,863	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	3,868	0		
人件費 B	0	0	0	216	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
活動指標	1	過疎地有償運送事業者数	件	目標	0	0	0	2	3	
				実績	0	0	0	3	0	
	(指標の説明) 鳥取市内の公共交通空白地有償運送事業者数(公共交通空白地有償運送支援事業との合算)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P175(都014)</p> <p>【事業の概要】 公共交通空白地において、地域住民などが運行主体となり、生活交通を確保するために取り組む「共助交通」を支援する。 ・ふるさとバス(平成21年2月から開始) NPO法人OMU 末恒地区 ・大和ふれあいタクシー(平成31年4月から開始) 大和地区まちづくり協議会 大和地区内</p> <p>【事業の成果】 補助金額及び利用者数 ・ふるさとバス 平成29年度 484千円 795人 平成30年度 434千円 470人 令和元年度 917千円 443人 ・大和ふれあいタクシー 令和元年度 4,814千円 688人</p> <p>【今後の課題・方向性】 市民との協働による生活交通を確保する取組が重要となっており、事業実績等を踏まえ、適宜、支援制度の改善を行いながら継続して事業を実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	過疎地有償運送事業者数				150%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおり事業を完了することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	市民主体による生活交通を維持することができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>路線バス等の公共交通の運転手不足が深刻化する中で、本事業の拡充を図りながら、市民との協働による生活交通の確保を図っていく必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	029000	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	100円循環バス運行事業		所属名	都市整備部	交通政策課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	その他
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	100円循環バス運行費負担金			予算事業コード	01-02-01-09-08-02

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中心市街地で活動する市民、観光客等
意図 (どのような状態 にするために)	中心市街地活性化、公共交通機関の利用促進、市中心部における公共交通空白地帯の解消等。
手段 (どうするのか)	市街地をワンコイン(100円)で移動することができる公共交通を運行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			くる梨の運行 年間利用者数37万人 を目標値に設定。	くる梨の運行 年間利用者数38万人 を目標値に設定。	くる梨の運行 路線見直し 年間利用者数39万人 を目標値に設定。	くる梨の運行 年間利用者数40万人 を目標値に設定。 新路線(実証実験) での運行開始	くる梨の運行 年間利用者数40万人 を目標値に設定。 新路線(本格運行) に向けての路線見直し
年度別実績		くる梨の運行 3路線で運行 ・赤コース ・青コース ・緑コース 年間利用者数 38.1万人	くる梨の運行 3路線で運行 ・赤コース ・青コース ・緑コース 年間利用者数 39.5万人	くる梨の運行 3路線で運行 ・赤コース ・青コース ・緑コース 年間利用者数 39.7万人 路線見直し 榎バイタルロードに委託し 新路線案を作成。	くる梨の運行 3路線で運行 ・赤コース ・青コース ・緑コース 年間利用者数 36.9万人 路線見直し 10/1より路線再編に伴い 実証開始。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	35,073	39,517	42,168	57,505	0	
	直接経費 A	33,629	37,687	39,995	55,348	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	7,604	8,409	8,450	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	33,629	30,083	31,586	46,898	0		
人件費 B	1,444	1,830	2,173	2,157	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.25	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				利用者数	人	目標	370000	380000
1	(指標の説明) くる梨の年間利用者数	実績	381912	395471	397015	369252	0	
		目標	0	0	0	0	0	
2	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0	
		目標	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0	
		目標	0	0	0	0	0	

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326								
	【10次総の施策体系】4202								
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P175(都015)								
	【事業の概要】 100円循環バス「くる梨」は、中心市街地の活性化を目的に、平成16年1月から本格運行を開始している。また、平成25年4月から緑コースを運行開始した。令和元年10月1日より、路線再編に伴う実証運行を実施し、令和3年4月1日から新路線での運行を開始する。								
	【事業の成果】 負担金額及び利用者数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>37,687千円</td> <td>395,471人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>39,995千円</td> <td>397,015人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>55,348千円</td> <td>369,252人</td> </tr> </table>	平成29年度	37,687千円	395,471人	平成30年度	39,995千円	397,015人	令和元年度	55,348千円
平成29年度	37,687千円	395,471人							
平成30年度	39,995千円	397,015人							
令和元年度	55,348千円	369,252人							
【今後の課題・方向性】 中心市街地活性化、公共交通機関の利用促進、市中心部における公共交通空白地帯の解消等のため、利便性の向上を図りながら継続して事業を実施する。									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	利用者数	103%	104%	102%	92%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおり事業を完了することができた。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	路線再編に伴う一時的な利用者の減少や新型コロナウイルス感染症の影響により目標を下回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>中心市街地居住者の高齢化に伴い生活交通としての役割が高まっていることや、市役所本庁舎の移転を踏まえ、令和元年10月1日より路線再編に向けた実証運行を実施している。この結果をもとに、利用者本位の利便性の高い本格運行を目指す。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	029100	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	鳥取港振興会対策事業		所属名	都市整備部 交通政策課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
目標の 施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	補助金交付
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取港振興会対策費		予算事業コード	01-07-04-01-04-03	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取港の利用者(市民、事業者等)
意図 (どのような状態 にするために)	利便性の高い港湾 ・貨物取扱量の増加。(港湾利用企業の誘致、新規貨物の獲得) ・クルーズ客船の誘致、受入れによる港の賑わい創出。 ・ボートパークの利用。
手段 (どうするのか)	県、市、商工団体、事業者等で組織する「鳥取港振興会」に対し活動経費を補助し、クルーズ船誘致、外国貿易の促進策などを強化・推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業・運営費補助	鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業・運営費補助	鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業・運営費補助	鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業・運営費補助	鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業・運営費補助	
年度別実績		職員1名を派遣 補助金4,682千円	職員1名を派遣 補助金6,588千円	職員1名を派遣 補助金5,504千円	職員1名を派遣 補助金3,025千円		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,414	7,329	6,238	3,754	0	
	直接経費 A	4,692	6,597	5,514	3,035	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	鳥取港取扱貨物量	万トン	目標	73	74	75	76	77
				実績	72	81	63	54
(指標の説明) 鳥取港の輸出入・移出入に係る平成27年の貨物量								
2	クルーズ客船の誘致、受入	回	目標	2	2	2	2	2
				実績	0	1	1	0
(指標の説明) 外国客船を含むクルーズ客船の寄港回数								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P265(都016)</p> <p>【事業の概要】 鳥取港の利用促進を図るため、「鳥取港振興会」が行うポートセールス活動等を、県・市の商工部局、商工団体等と連携しながら支援する。 クルーズ客船誘致活動 外国貿易促進活動 港湾施設の整備及び港湾関係公共機関の設置に係る要望活動</p> <p>【事業の成果】 平成29年度 貨物取扱量 81万トン クルーズ船寄港 1隻 平成30年度 貨物取扱量 64万トン クルーズ船寄港 1隻 令和元年度 貨物取扱量 54万トン クルーズ船寄港 0隻</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取港を観光振興拠点及び物流振興拠点としていくための環境整備が重要となっており、県、国と連携し中長期的に取り組んでいく必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	鳥取港取扱貨物量	99%	109%	84%	71%	
	2	クルーズ客船の誘致、受入		50%	50%	0%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおり事業を完了することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	貨物船やクルーズ船の寄港のセールス等を行ったが本年度の実施には至らなかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>「鳥取港長期構想」に基づき、必要な整備を計画的に推進し、国の重要港湾、麒麟のまち圏域の観光振興拠点及び物流振興拠点に相応しい港湾を目指す。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	037800	重点施策	まちづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進事業		所属名	都市整備部	都市企画課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%		
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人		
事業の目標			0	0	運営方法	直営
					会計区分	一般会計
予算	予算事業名	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議負担金			予算事業コード	01-02-01-07-03-17

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	「山陰新幹線」の早期実現
意図 (どのような状態にするために)	「山陰新幹線」の整備
手段 (どうするのか)	2府5県の52自治体で組織され、鳥取市長が会長を務める「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」に対して、国への要望活動、山陰新幹線整備の効果検証、地元機運の醸成活動など、山陰新幹線の実現に向けた活動を支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
内容	年度別計画			山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議への支援	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議への支援	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議への支援	
	年度別実績			山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議への支援	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議への支援		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	774	769	0	
	直接経費 A	0	0	50	50	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	50	50	0	
人件費 B	0	0	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
活動指標	1	[KPI] 山陰新幹線の実現を目指します。	回	目標	0	0	1	1	1	
				実績	0	0	1	2	0	
	(指標の説明) 山陰新幹線の実現を目指し、国等への要望活動を実施。									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】事業調整係 0857-30-8322
	【10次総の施策体系】4202
	【事業の概要】 (1)「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」に対し活動支援を行い、国及び関係機関・団体への要望、広域的・全国的な啓発、山陰新幹線整備に関する調査・研究、情報収集・交換等の事業を展開する。 会 員 福井県、京都府、大阪府、兵庫県、鳥取県、島根県、山口県内の52市町村 会 長 鳥取市長 事務局長 京丹後市長 負担金 鳥取市：50,000円 (参考 米子市：50,000円、倉吉市：30,000円)
	【事業の成果】 (1)国土交通省等に対する要望活動(6月、11月)を行ったほか、機運醸成のためのシンポジウム(10月)を実施した。 【今後の課題・方向性】 第一期整備計画路線の整備が完了を迎えつつある中、山陰新幹線の第二期整備計画への採択に向けて今後数年が正念場となるため、関係者一丸となった取り組みを強化・推進していく。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1 [KPI]山陰新幹線の実現を目指します。			100%	200%	
	2					
	3					

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画どおり事業を完了することができた。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」の活動支援を行い、地元機運の醸成、山陰新幹線の効果検証などを推進するとともに、目標回数を上回る要望活動を行った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 第一期整備計画路線の整備が完了を迎えつつある中、山陰新幹線の第二期整備計画への採択に向けて今後数年が正念場となるため、「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」の活動をさらに活発化させるとともに、行政のみならず議会や経済団体などとも連携し、関係者一丸となった取り組みを強化・推進していく。		